

## 会議録（概要）

会議の名称	令和7年度 第2回弥富市総合計画・総合戦略推進会議
開催日時	令和7年12月24日(水) 午後1時30分～2時21分
開催場所	弥富市役所本庁舎5階 協議会室
出席者及び欠席者	<p>出席者：東嶋とも子（会長）、入江容子（職務代理）、柿内賢治、浮須守、釜田公良、児玉日佐美、渡辺里江（順不同）</p> <p>事務局：市長、副市長、教育長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、教育部長、議会事務局長、総務部参事、産業振興課長、土木課長、都市整備課長、下水道課長、企画政策課長、企画政策課職員4名</p> <p>欠席者：伊藤肇章、伊藤惠造、柄谷友香、伊藤善啓、建設部長（順不同）</p>
会議内容	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 第2次弥富市総合計画施策評価及び事務事業評価について</p> <p>(2) 弥富市デジタル田園都市構想総合戦略の進捗状況報告について</p> <p>(3) その他</p> <p>4 閉会</p>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次第</li> <li>・弥富市総合計画・総合戦略推進会議委員名簿</li> <li>・資料1 施策評価、事務事業評価及び重点戦略評価（令和6年度実施事業）の概要</li> <li>・資料2 第2次弥富市総合計画 後期基本計画施策評価シート【令和6年度】</li> <li>・資料3 弥富市デジタル田園都市構想総合戦略 重点戦略評価シート【令和6年度】</li> <li>・弥富市総合計画・総合戦略推進会議設置要綱</li> </ul>

発言者	会議の概要（議題・発言内容等）
事務局	<p><b>1 開会</b></p> <p>&lt;欠席委員 連絡、資料の確認&gt;</p>
市長	<p><b>2 あいさつ</b></p> <p>&lt;市長あいさつ&gt;</p>
古市委員	<p>&lt;古市委員あいさつ&gt;</p>
	<p><b>3 議題 <u>(3 (1)、(2)、(3) については、会長により進行)</u></b></p> <p><b>(1) 第2次弥富市総合計画施策評価及び事務事業評価について</b></p>
事務局	<p>&lt;資料1・2について、事務局より説明&gt;</p>
入江委員	<p>&lt;質疑&gt;</p> <p>施策評価シートの主要施策に関連する実施計画事業の評価の★について、必要性・妥当性・有効性・効率性の4つの評価観点と★の数は対応しているのか。</p>
企画政策課長	<p>総合的に判断して評価をしているため、4つの評価観点と★の数が対応するものではない。</p>
	<p><b>(2) 弥富市デジタル田園都市構想総合戦略の進捗状況報告について</b></p>
事務局	<p>&lt;資料3 について、事務局より説明&gt;</p>
釜田委員	<p>&lt;質疑&gt;</p> <p>「ファミリー・サポート・センター」、「子育て世代包括支援センター」、「こども家庭センター」では、それぞれどのような事務を担っているのか。</p>
健康福祉部長	<p>「ファミリー・サポート・センター」については、育児に関して手助けが欲しい方と支援ができるという方をマッチングさせる取組をしており、市役所1階に開設されている。児童課と連携を図りながら、子育ての手助けを行っている。</p> <p>「子育て世代包括支援センター」については、令和6年度までは健康推進課（保健センター）において、子育て等の相談や指導を行っていた。</p> <p>また、児童課内の子ども家庭総合支援拠点においても乳幼児期の子育てに関する相談等を受けていた。</p>

	<p>これを国の施策に基づき、1つの「こども家庭センター」として統合し、健康推進課と児童課の連携をより強化することで子育て世帯に対する支援をより充実させていくものとして推進している。</p>
古市委員	<p>スクールカウンセラー配置事業、スクールソーシャルワーカーの設置事業に関して、非常に重点的に取り組んでいると思う。引き続き、事業を推進してもらいたい。</p> <p>コミュニティバス運行事業について、現在デマンド交通の実証実験が行われており、市民の方との話の中で、予約が取りにくくなるほど好評であると聞いている。</p> <p>行きはチョイソコで予約を取り、帰りはタクシーを手配し、病院や買い物に行くなど高齢者をはじめ市民が有効に活用していることから、今後も非常に期待している。</p>
入江委員	<p>評価結果の全体について、今回シートを改善されて非常に把握しやすくなった。</p> <p>施策評価シート内の主要施策の評価において、意図として客観的に把握をして、見える化をすることが最も重要である。</p> <p>担当職員の中には、C・Dの評価をつけることに抵抗感を感じる方もいるかもしれないが、他律的要因によるものであればやむを得ないため、客観的に把握するということで進めてもらいたい。</p> <p>成果指標の達成度については、△の評価をしているものについては、担当課において状況や理由を把握していると思うが、その点を踏まえて今後の施策等を進めてもらいたい。</p> <p>また、後期基本計画を策定した際に改正のポイントとして方向性を示してもらった。例えば、「市民が参加したくなる楽しいイベント等の開催」、「市民の知りたい情報をパッケージにした情報提供」、「DXの推進と個別の相談に寄り添う、便利さと安心の両立支援」、「子ども関連施策の一体的推進」といったような方向性があったと思うが、その方向性に沿った中で、事業を推進していくという意識を持ち、評価を進めてもらいたい。</p> <p>令和6年度実績においては、「ファミリー・サポート・センター会員数」や「子育て支援センターにおける育児相談件数」が若干伸び悩んでいるように見受けられる。</p> <p>また、「高齢者福祉タクシー料金助成利用券申請者数」も伸び悩んでいる。</p> <p>これらは、もしかすると行政が情報を届けたい方々のところに届けることができない可能性があると考えられるため、そうした把握できないニーズに対してどのようにして届けていくか、今後、知恵を絞っていただきたい。</p>
企画政策課長	いただいた貴重な意見を職員間で共有し、今後も取り組んでいく。
柿内委員	重点戦略2 施策の方向性2のKPI「市街化区域面積」について、現状値（令和4年度）が1,110haに対して、令和6年度も変わらず1,110haである。目標値は1,150haとなっているが、進捗状況はどのようになっているのか。

都市整備課長	車新田地区土地区画整理事業や、現在協議中ではあるが鍋田地区や上野グラウンドの市街化編入を計画している。そのような計画を踏まえ、令和10年頃には40haほど市街化区域面積を増やしていきたいと考えている。
会長	施策評価結果一覧にあるD・Eの評価がついた施策については、少しでも改善・検討していただきたい。  (3) その他  <質疑等なし>  6 閉会